

まちに

春を告げる

照日神社春祭り



まちに春の訪れを告げる照日神社春祭りが、3月11日（日）に開催されました。

照日神社は、縁結びの神様として親しまれている歴史ある神社で、約300年前に伊勢神宮から御分霊を勧請したことがこの祭りの始まりとされています。

五穀豊穡を祈願して毎年、3月の第2日曜日に開催されるこの春祭りの特色のひとつに伝統芸能の神舞奉納があり、野方神舞保存会（川原辰雄会長）によって継承されています。

祭りは、平成20年に復活した浦安の舞で始まり、19段ある神舞のうち7段が同保存会によって奉納されました。

『杵舞』では、男性2人が両肩に乗せた杵の上にヨメジヨが立って手踊りを演じ、観客を沸かせました。また、野方保育園児による合奏やダンス、日本舞踊などの各種地域演芸も披露されました。

隣の神社境内では、奉納剣道大会も行われ、とても賑やかな一日となりました。



浦安の舞

神舞奉納



1 四人鬼神舞 2 田の神舞 3 杵舞 4 弓舞 5 薙刀舞 6 小鬼神舞 7 舞上